

経営比較分析表（平成28年度決算）

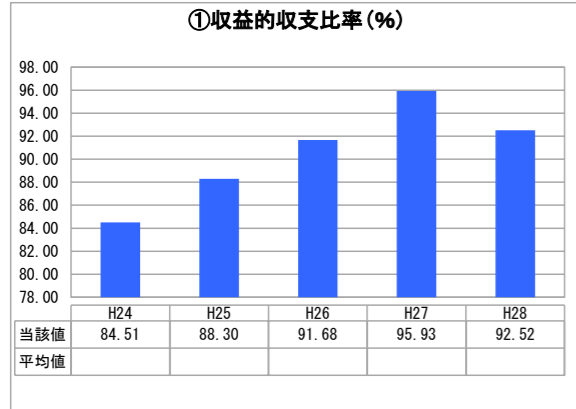
沖縄県 うるま市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.36	100.00	1,144

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
122,692	87.02	1,409.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
446	0.27	1,651.85

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



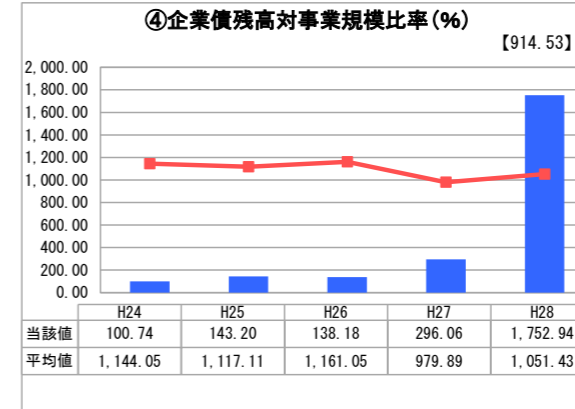
「単年度の収支」



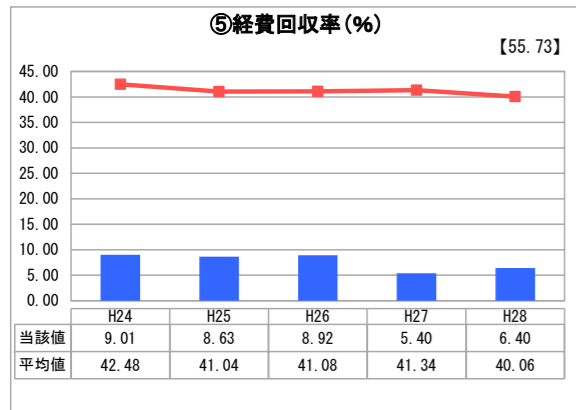
「累積欠損」



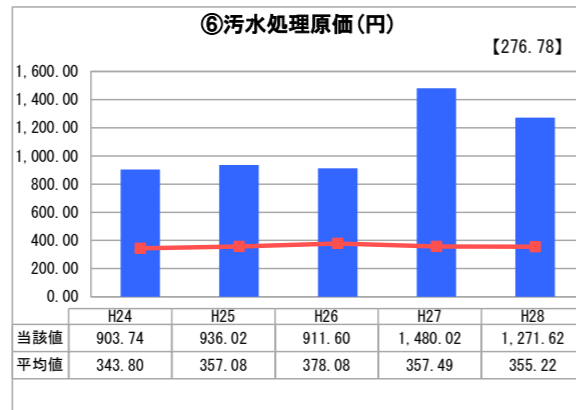
「支払能力」



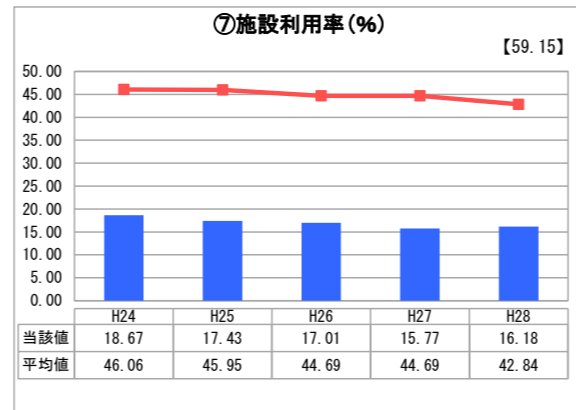
「債務残高」



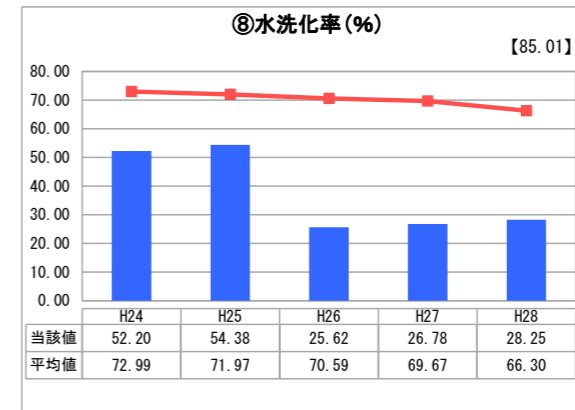
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

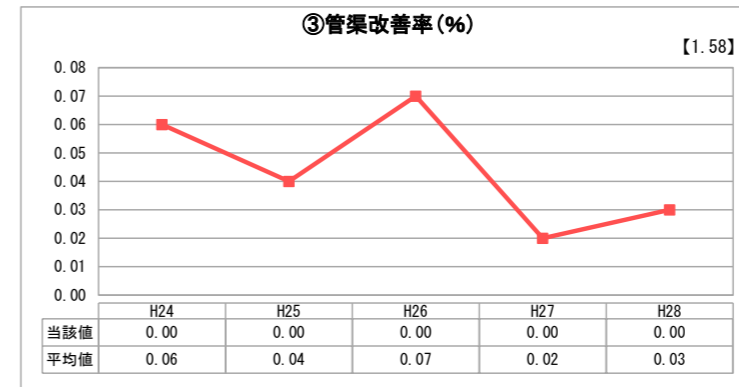
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
単年度収支の赤字(100%未満)により更なる経営改善に向けた取り組みに加え、接続率の向上による料金収入の増を目指している。
- ②累積欠損金比率
該当数値なし
- ③流動比率
該当数値なし
- ④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値より数値が高く接続率の向上による料金収入、施設の更新及び長寿命化施策の進展状況を勘案し、随時その適正度を検討する必要がある。
- ⑤経費回収率
類似団体平均値より低い値にあり、適正な使用料収入の確保及び最適な処理方法の検討が必要である。
- ⑥汚水処理原価
類似団体平均値より高い値にあり、地理的要因等及び島嶼地区特有の人口の減少もあり、最適な処理方法を検討する。経営改革が必要である。
- ⑦施設利用率
類似団体平均値より低い値にあり、将来の施設の更新時には、長寿命化による施設の延命措置や、施設の規模のスペックダウンも踏まえ、適切な施設規模を構築する必要性があります。
- ⑧水洗化率
類似団体平均値より低い値にあり、水洗化率の向上の取り組みを行っているが、人口の減少に伴い接続世帯数も伸び悩んでおり、新たな方策を検討しなければならない。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
該当数値なし
- ②管渠老朽化率
該当数値なし
- ③管渠改善率
今年度は、若干、施設の補修等もあり数値が向上したが、将来の施設の更新時期を見据え、長寿命化計画の進捗状況を勘案し、随時その適正度を検討する必要がある。

全体総括

市では、水洗化率の向上を目指し、未接続世帯へ接続を促し、接続率の向上を目指してきたが、期待できるような効果に繋がっていない現状があります。これは高齢化や人口の減少の影響も起因しており、新たな経営の方針を見直す必要があります。また、施設の老朽化に対する措置についても、農業集落排水施設の機能診断及び最適整備構想策定業務を実施しましたので、それに基づき、既存の施設の長寿命化の推進と最適維持管理を推進しつつ、適切な施設規模の見直しについても計画していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。